

広島エリア くらしの保健室 開催報告 教えて！ドクター！健康教室

6月16日（月）、東原集会所

にて「ピロリ菌と胃がんについて」をテーマに、西原セントラルクリニックの院長で、消化器系の専門医である久保田先生による講演が行われました。

胃がんは50歳前後から、特に男性で罹患率が高くなるそうです

が、早期発見で高い生存率が期待できるため早期の検査と治療の重要性を強調されていました。

胃がんの主な原因には生活习惯のほか、ヘルコバクター・ピロリ菌の感染が挙げられ、定期的な胃カメラ検査とピロリ菌除菌の必要性も紹介されました。

講演後の質疑応答では、「経口内視鏡と経鼻内視鏡はどちらがいいの？」「糖尿病と膵臓がんの関連性について教えてほしい」など様々な質問

が寄せられ、参加者の高い関心がうかがえる盛況な会となりました。



皆さま興味深く先生のお話を聞いておられました



西原セントラルクリニック
院長 久保田 洋平 先生
内科 / 一般内科・消化器内科



この度、沖縄の歴史あるグラフ誌「オキナワグラフ」2025年5月号に大きく掲載されました。

那霸セントラルクリニック 4月1日グランドオープン



▶誌面詳細はQRコードよりご覧いただけます。
※オキナワグラフは1958年に創刊。沖縄の「今」を伝える県内唯一の写真月刊誌。



正看護師を目指した理由を教えてください

今後チャレンジしたいこと

もともと准看護師として働いており、基本的な知識や技術は持っていました。自分の知識が浅いと感じており、もっと深く学びたいと思つていましたが、日々の業務の忙しさから勉強に踏み切れずになりました。でも、より専門的な知識を深めてご利用者様の役に立ちたい、職員の皆さんときちんと知識を共有したいという強い気持ちや、法人の奨学金制度が後押しとなりました。

仕事と勉強の両立に向けた工夫は？

職場の皆さんのが、勉強に集中できるように助けてくれました。課題やテストが近くなると、シフトを調整して勉強時間を確保してくれたり、疑問質問に答えてくれたり。「しないで、辞めたい」と何度も思いましたが、皆さん、「とにかく諦めるな、正看護師になるんよ！」という励ましに支えられて、仕事も勉強も頑張ることができました。職場全体で支えてくれたことに、心から感謝しています。

勉強の気分転換や息抜き・支えになつたこと

職場の皆さんとのご飯の約束は、モチベーションのひとつでしたし、何でも相談できる環境があつたことは大きな支えでした。また看護学生の期間は、とにかくできる時間を使う「ことに集中して頑張ってきました。特に子どもたちとの時間は何より大切にしてきました。公園で子どもと遊びながら、合間にパソコンで課題を作成するなど・・・現在、上から20歳、18歳、下は小学生の子供がいます。ちょうど長女も看護師を目指して勉強中で、一年間は親子で学生生活が重なり、お互いに刺激し合いながら、毎日を乗り越えてきました。子どもたちが私の頑張る姿を見て理解してくれたことも、大きになりました。



▲ナーシングホームめぐみ那覇の開設に向け、応援スタッフとして沖縄へ。開設後は名前入りのスペシャルケーキを囲み賀美さんへの感謝の気持ちを込め、現地スタッフより送別会が開かれました



がみ ゆうこ
賀美 夕子 さん

2025
夏号
総合版



▲ナーシングホームめぐみ那覇の開設に向け、応援スタッフとして沖縄へ。開設後は名前入りのスペシャルケーキを囲み賀美さんへの感謝の気持ちを込め、現地スタッフより送別会が開かれました